

# 日本における経皮的冠動脈インターベンション（PCI）および冠動脈バイパス術（CABG）のレジストリー（コホートⅢ）

## 研究期間

2015年1月1日から2025年3月30日

## 目的

本邦で第2世代薬剤溶出性ステント（DES）が登場した後の2011年1月から2013年12月の3年間に初回のPCIまたはCABGが施行された症例をもとに、3年間の追跡調査を行い治療成績を評価するとともに、先行研究と比較することで本邦における冠血行再建術の経年的な変化を評価する。

対象患者：当院で2011年1月から2013年12月の3年間に初回の経皮的冠動脈インターベンション（PCI）あるいは冠動脈バイパス術（CABG）を施行された方

## 利用又は提供する試料・情報、提供方法

試料・情報：患者背景、患者情報、病歴、手術情報、血液、画像データ、検査データ

提供方法：電子的配信

## 【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の診療情報につき開示のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

三菱京都病院 心臓内科 横松孝史

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地

電話 075-381-2111（代）

主任研究者 京都大学循環器内科 木村 剛